

# 協議会 だより

Vol.50  
2022.3.15



皆さん、こんにちは最近急に暖くなり、平年並みの気温を上回る日が続いています。今年も4月～5月の時期に、草刈りの作業が多くなりますので、再度、作業の安全確認の注意喚起をお願いします。



## 作業事故にご注意ください。



### 作業事故について

☆石や障害物の確認は、事前に行い飛び跳ね等が無いよう注意しましょう。

☆正しい草刈り機の使用方を事前に確認しましょう。



### 作業中断について

☆休憩や昼休みなど作業の中止を知らせる場合は、背後からではなく、作業している人の前から遠隔操作で知らせるようにしましょう。



声かけ

背後からの声掛け ×



長袖・長ズボンで肌の露出を抑える

### 服装について

☆草刈機を使用する際は、ヘルメットや防護メガネ、手袋、長靴（または安全靴）などを着用しましょう。



ゴーグルなし半袖は、×

※研修会資料と一緒に配布しましたラミネート加工の安全のしおりを作業時に活用して参加者の安全確認を徹底しましょう!!

高めよう 地域協働の力!  
**多面的機能支払交付金  
 共同活動の安全のしおり**  
 共同活動前に安全確認を行い、  
 事故の発生を防止しましょう

**安全確認チェックリスト**

事前チェック	<input type="checkbox"/> 活動場所の下見をして作業環境を確認しましたか。	<input type="checkbox"/> 危険な箇所については、テープ等で印を付けたり、作業マップにマーキングしましたか。	<input type="checkbox"/> 参加者の年齢、作業の熟練度等を考慮して作業計画(分担、配置等)を立てましたか。
	<input type="checkbox"/> 作業者は機具等の安全な操作方法を習得しましたか。	<input type="checkbox"/> 参加者は全員保険に入りましたか。	<input type="checkbox"/> 緊急連絡表は作成しましたか。
	<input type="checkbox"/> 参加者に危険な箇所の説明をしましたか。	<input type="checkbox"/> 機具等を用いる場合、点検は済みましたか。	<input type="checkbox"/> 緊急連絡表の掲示や携帯はしましたか。
当日チェック			

**<作業中の服装チェック>**



- ヘルメットは被りましたか?
- 長袖、長ズボンを着用しましたか?
- 手袋、長靴等は着用しましたか?
- 防護メガネは着用しましたか?

**草刈作業中の留意点**

- 防護の徹底**
  - 草刈機を使用する際は、ヘルメットや防護メガネ、手袋、長靴(または安全靴)などを着用しましょう。
- 障害物の除去等**
  - 事前に、草刈範囲の空き缶や石、木片などを取り除いておきましょう。
  - 除去できない木や障害物がある場合は、その周辺は草刈機を使用せず、鎌等で草刈りしましょう。
  - 鋒刺されを防ぐために、適切な服装や殺虫スプレーを携行し、蜂に刺された場合の対処方法を事前に確認しましょう。
- 草刈機の点検・整備**
  - 刈刃のひび割れや欠け等がある場合には、新しい刈刃と交換しましょう。
  - 刈刃が確実に固定されていることや、飛散物保護カバーが装着されていることを確認しましょう。
- 草刈機の安全な使用**
  - 安全な使用方法を修得した作業者が行いましょう。
  - 火災の恐れがあるので、エンジンを始動する場合は、給油場所から3m以上離れましょう。
  - 作業を中断する際や移動する際には、エンジンを切って刈刃の回転が止まってからにしましょう。
  - 安全な使用方法の修得には、「機械の安全使用に関する研修」の取組も活用してください。
- 作業間隔の確保**
  - 複数名で作業を行う場合は、15m以上間隔を置き、接触事故を防止しましょう。
- 休憩の確保**
  - 振動とエンジンの騒音で想像以上に疲労がたまるので、時間を区切ってこまめに休憩を入れましょう。
- 草刈作業への合図**
  - 草刈機は騒音が大きいため、作業中に声をかける際には、鏡や笛を用いて遠くから合図をしましょう。

**活動前日までに、現地の下見、打合せ、緊急連絡先の確認を必ず行いましょう**

- 活動中の事故を未然に防止するため、事前に活動場所の下見を複数名で行い、**危険な箇所**(急傾斜地、窪地やぬかるみ、段差、狭小地、急流の水路、危険物、蜂の巣などの危険な動植物等)のチェックを行い、危険物の除去や危険箇所をわかりやすく表示しましょう。
- 参加者の年齢、体力、作業の熟練度等や当日の健康状態を確認し、適切な作業分担・配置を行うとともに、**無理のない作業計画**を立てましょう。
- 緊急時に備え、**緊急連絡表**を作成し、全員で確認しておきましょう。
- 緊急連絡先の確認
  - ・ 最寄りの医療機関(複数)
  - ・ ご家族の連絡先
  - ・ 保険会社

**活動を行う前に、必ず保険に入りましょう**

- 共同活動を行う際には、必ず**保険**に入りましょう。近隣の保険会社に相談してみよう。
- 活動日の1~2週間前までに手続きが必要なので、早めに参加者を決めるようにしましょう。
- 1日あたり数十円~数百円のものまで様々な保険があります。保険料は、多面的機能支払交付金による支援の対象になります。

**活動に当たっては、参加者一人一人が事故防止の意識を持つことが大切です**

- 活動当日は、事前にチェックした危険箇所等の情報を参加者全員に周知し、**注意喚起**を行いましょ。
- **声かけ**をしましょう。
- 緊急連絡表を見やすい場所に掲示したり、通報担当者が携帯するようにしましょう。

**■ 事故の傾向 (平成24年度~令和元年度の発生状況)**

平成24年度から令和元年度に232件の事故が農林水産省に報告されています。発生原因では、転倒・転落(40%)及び草刈機等の接触(29%)で過半数を占めています。

また、樹木の伐採を行う場合や重機を用いる場合は、重大な事故につながる恐れがありますので、特に注意が必要です。



**活動中の事故は、草刈りや雑木伐採時、車両等機械操作中に多く発生しています**


**■ 事故の例**

**雑木の伐採**



- ・ 活動項目: 水路の整り
- ・ 作業内容: 雑木の伐採・除去作業
- ・ 事故概要: 単独で水路横の直径約30cmの雑木をチェーンソーで伐採中、作業面反対側への切り込みを行わなかったために雑木が地上2m付近で破断し、踵部を直撃したものと推定。
- ・ 被災状況: 重体の後、死亡
- ・ 発生原因: ヘルメットの非着用。安全な作業方法(作業面反対側への切り込み)の周知不足。

**路面の維持**



- ・ 活動項目: 農道・施設の適正管理
- ・ 作業内容: 路面の維持(砂利敷き作業)
- ・ 事故概要: スコップでの砂利敷き出し作業中、後退してきた小型特殊自動車(ホイールローター)と停止中の2人乗トラックとの間に挟まれた。
- ・ 被災状況: 死亡(内臓損傷)
- ・ 発生原因: 安全な作業方法の周知不足。道内での安全管理に係る取り決めの周知不足。

農作業等の安全対策の推進等に関する「農作業安全のための指針」や事故防止の取組事例等の農作業安全に関する情報は、農林水産省のホームページでご覧いただけます。  
[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)

◎お問い合わせは、各都道府県推進組織又は地方農政局農村振興部地域整備課へお願いいたします。

**福岡県農地・水・環境保全協議会**

※本交付金は農林水産省の補助事業です。